

2019年8月号

## 須藤大輔の スドイ言葉

Route開校より5年が経ち、様々なお子様の成長を目の当たりにしております。

そんな中、共通して言えることは練習に集中し

- ・コーチの話を聞く！
- ・デモンストレーション、上手い子のプレーを見る！
- ・何を獲得するための練習なのかを理解する！
- ・そして失敗を恐れずチャレンジする！

ことです。

上記にあげたことが出来ているお子様は成長曲線を大きく右肩上がりに上げることに成功しております！

7月のRouteトレーニングでは視野を確保し前(ゴール)を中心に周りを見ながらゆっくりと時間を作り、相手を引きつけ、突破する！もしくは突破できない時、又はカバーされた時にボールを失わないようにする身体の使い方、ボールをキープし、相手を感じながら前を向く！

というトレーニングを中心に発展から応用までをしていきました。

このトレーニングは試合中のトップスピードの突破のドリブルではなく、敢えてゆっくりのドリブルで周りの状況が十分に把握できる状態を作り上げ、相手が取りに来たから突破しよう！

という、試合の状況がこういう状況だから、こういうプレーをしよう！というトレーニング構造になっております。

ですからコーチの話をしっかりと聞き、デモンストレーションを見て全てを理解しなければ、ただ単に遅いドリブルをする練習になってしまい、技術の獲得にも何なりません。

どんなに運動神経、テクニックレベルが低いお子様でも毎回毎回のトレーニングで集中していれば、時が経つに連れ驚くほどの成長に繋がっております。

逆に最初にある程度できてしまう、又は運動能力のあるお子様が集中せずにトレーニングを続けて行くと直ぐに壁におち当たってしまいます。

そんな子は上手いかない理由が何なのかが分からず、周りの子が成長している姿を見て自分が今までできていたのにできなくなっていく状況が嫌になってしまい、サッカーから離れていってしまうという傾向にあるように思います。

私たち指導者は常にお子様の状況や、トレーニングに臨む姿勢を注意深く観察し、その場で直ぐに進むべき道に誘う事を心掛けております。

Routeの合言葉でもある、『常にチャレンジする姿勢を持ち、失敗を恐れずに思いっきりプレーし自分を表現しよう！』

このプレーができる時、素晴らしい自分の姿が見えること間違いありません！

その基本は

- 聞く！見る！理解する！
- ただこれだけです。

お子様のキラキラした笑顔をキラキラな未来に繋げて行けるように！

## 山梨県峡東地区指導者研修会

『もっと上手に!! もっと楽しく!! 選手と共に成長しよう!!』をテーマに、子供たちのサッカー技術レベルアップ、楽しさの体感、指導者のレベルアップというコンセプトで

【山梨県峡東地区指導者研修会】に講師としてRouteコーチングスタッフと共に参加させていただきました。

Route須藤大輔サッカースクールを共催して下さっている笛吹市サッカー協会主催の下、U10トレンの子供たちを指導させていただき、指導者の方にはより細かな試合からの逆算で指導することの大切さや、試合中の状況をトレーニングの中に作り出すメニュー構築、オーガナイズなどをメニュー 1つ1つ取り上げ説明させていただきました。

Routeトレーニングメソッドを今後も更に深みのあるものに構築していきたいと思っております。



各校のスケジュールやお知らせはWebサイトを御覧ください <http://www.route-school.com>



2019年7月31日刊行

次号は8月下旬の発行を予定しています。